

入学試験問題「英語」

問題 次の文章を全訳しなさい。(配点 100 点)

【問題文は、著作権等の理由により掲載しません。】

入学試験問題「心理学」

問題1 (配点 50 点)

行動主義と人間性心理学について、1)両者の違いを対比的に説明しなさい。また、2)それぞれを代表する研究者の名前を各 2 人ずつ挙げなさい。さらに、3)あなたの研究スタイルはどちらの考え方に近いか(その理由も)を述べなさい。

(1)両者の違いを対比的に説明しなさい。

(2)それぞれを代表する研究者の名前を各 2 人ずつ挙げなさい。

(3)あなたの研究スタイルはどちらの考え方に近いか(その理由も)を述べなさい。

問題2 (配点 10 点×5)

以下の用語、人物について説明しなさい。

(1) Change blindness

(2) フット・イン・ザ・ドア

(3) ジェームズ＝ランゲ説

(4) メンタルワークロード

(5) パワー分析

問題3 (配点 50 点)

次の2問中1問を選択し、次ページの選択問題記入欄に問題番号を記入し、選択した問題に答えなさい。

選択問題(1)

近年、スマートフォンの通知は注意を分散させ、学習や作業の効率を低下させる可能性がある。そこで本問では、通知を抑制する短時間介入が注意課題の成績を改善するかを検討した実験データをもとに、統計的検定結果と効果量の解釈、ならびに今後の研究計画上の対応について、実験心理学の観点から論述しなさい。

[導入]

スマートフォン通知を抑制する短時間介入(通知オフ+自己教示)が注意課題の成績(反応時間)を改善するかを検討した。仮説は「介入群は統制群より反応時間が短い」である。

[方法]

大学生 40 名をランダムに 2 群(介入 20 名、統制 20 名)に割り当て、視覚探索課題の正答反応時間(平均 ms)を主要アウトカムとした。

[結果]

介入群 520 ms、統制群 560 ms で、平均差は仮説方向だった。両側検定の結果は $p = .08$ (有意水準 $\alpha = .05$) であり、有意ではなかった。一方、効果量は $d = 0.48$ (中程度)であった。

【設問】

1. p 値が .08 であることは何を意味するか、帰無仮説に沿って説明しなさい。
2. 「有意でない」＝「効果がない」ではない理由を、少なくとも 2 つの観点から説明しなさい。
3. この結果を踏まえ、研究者が次を取るべき行動を 2 つ提案し、それぞれ理由を述べなさい。
4. 「統計的に有意」と「実質的に重要」の違いを、効果量とサンプルサイズの関係も踏まえて説明しなさい。

選択問題(2)

労働現場において、作業マニュアルに不備があるにもかかわらず、その改善が進まないことがある。この理由について、心理学的観点から説明しなさい。その際、以下のキーワードの中から 2 つ以上 を的確に使用すること。

- 1) 多元的無知
- 2) 心理的安全性
- 3) 現状維持バイアス
- 4) 学習性無気力

問題4 (配点 10 点×5)

以下の8項目の中から5項目を選択し、解答欄に問題番号を書き、それぞれの事項について説明せよ。

- (1) 直接プライミング
- (2) スリーパー効果 (sleeper effect)
- (3) Welch's t test
- (4) セルフ・サービング・バイアス (self-serving bias)
- (5) 視交叉 (optic chiasm)
- (6) 自己評価維持モデル (self-evaluation maintenance model)
- (7) ヴィルヘルム・マクシミリアン・ヴァント
- (8) 関係流動性 (relational mobility)